



韓国料理店『bibim』

- 本社所在地：大阪府大阪市中央区
- 事業概要：卸売業、食材販売、その他商品開発販売、外食事業、生産開発事業、物流事業
- 常時使用する従業員：1,046名
(グループ全体 2026年8月時点)
- 現在の売上高：58億円
(グループ全体 2025年12月期)
- 法人番号：3120001079250
- Web：https://www.koti.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
朴 良基

韓国素材でお客様の喜びと健康を作り、日韓両国の更なる深い交流を生み出す

当社グループは、韓国料理の価値を通じて人々の豊かな食体験を創造し、日本一の韓国料理チェーンへと成長することを目指しています。売上高100億円の達成は単なる規模の拡大ではなく、お客様に対して安全・安心で高品質な商品と感動あるサービスを安定的に提供し続ける基盤を築くことに他なりません。また、地域社会に対しては、店舗展開や雇用創出を通じた地域経済の活性化、ならびに持続可能なサプライチェーンの構築による環境負荷低減に貢献してまいります。さらに、社員一人ひとりの成長こそが企業成長の原動力であると捉え、生産性向上に裏付けられた処遇改善や働きがいのある職場環境の実現に取り組めます。100億円企業への挑戦を通じて、当社に関わるすべての人々が豊かさや誇りを実感できる未来を創造してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社グループは、2029年のグループ売上高100億円の達成に向け、韓国料理専門チェーンとして、国内シェアNo.1のブランド確立と持続的成長を目指します。
垂直統合型ビジネスモデルを進化させ、「作る・売る・管理する」の三位一体の高度化により、生産性と収益力を高めます。
さらに、人材育成と働きがいの向上を通じて組織力を強化し、事業の継続的な成長を可能とする基盤を確立してまいります。

課題

- ・出店拡大に伴う人材確保と育成の強化
- ・原材料価格高騰に対応し得る調達力と原価管理の高度化
- ・DX推進による業務効率化とデータ活用環境の整備
- ・ブランド認知向上と競争優位性の確立に向けた戦略立案
- ・FC展開を視野に入れたサプライチェーンの最適化と安定供給体制構築
- ・店舗運営の標準化と品質維持に向けた仕組み強化
- ・組織拡大に伴うガバナンス強化と経営基盤整備

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①人材・組織基盤の強化
 - ・人材採用強化と体系的教育制度により即戦力人材育成推進
 - ・HD体制強化と管理機能高度化で経営基盤と統制を強化
- ②サプライチェーンと店舗運営の強化
 - ・集中購買と内製化推進で原価低減と調達安定性を確保
 - ・セントラルキッチン（生産工場）増強によるFC展開の推進
 - ・店舗運営体制標準化・研修強化による品質・サービス向上
- ③DX推進とブランド競争力の維持向上
 - ・全社DX推進整備により業務効率化とデータ活用を高度化
 - ・物流拠点整備と予測高度化で供給最適化を実現

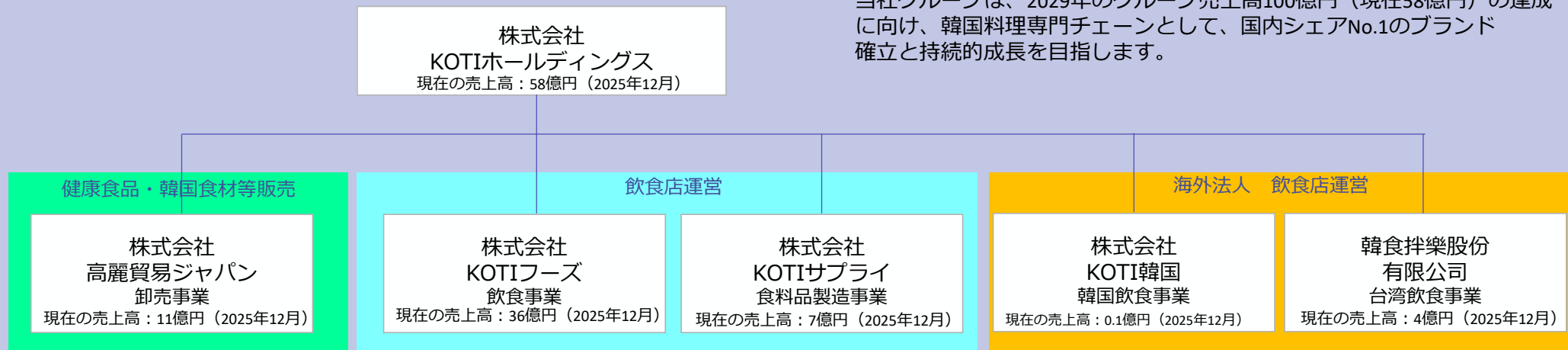
実施体制

- ①人材・組織基盤の強化
 - ・人材育成部門を設置し採用・教育を横断的に強化
 - ・管理部門が内部統制強化とガバナンス向上を担保
 - ・HDが戦略・資金・統治を担い全体最適の経営を推進
- ②サプライチェーンと店舗運営の強化
 - ・サプライ会社が製造・物流機能を担い安定供給を確保
 - ・事業会社が店舗運営と営業機能を担い収益拡大を実現
 - ・外部パートナーと連携し出店・開発・販路拡大を推進（FC展開推進）
- ③DX推進とブランド競争力の維持向上
 - ・DX部門がデータ統合し需給最適化と意思決定高度化を支援

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

グループ構成

当社グループは、2029年のグループ売上高100億円（現在58億円）の達成に向け、韓国料理専門チェーンとして、国内シェアNo.1のブランド確立と持続的成長を目指します。



KOTIホールディングスの統括管理の下、
①健康食品・韓国食材等の販売
②飲食店運営
③セントラルキッチン、飲食商品企画
の3本柱で事業を推進。

①は高麗貿易ジャパン、②は店舗運営をKOTIフーズ、
③をKOTIサプライがそれぞれ担う。

○法人番号：3120001079250（株式会社KOTIホールディングス）、3120001279395（株式会社高麗貿易ジャパン）、7120001279391（株式会社KOTIフーズ）、5120001279393（株式会社KOTIサプライ）、該当なし（韓食拌樂股份有限公司）、該当なし（株式会社KOTI韓国）